



【学校教育目標】社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

# 泉だより

No.1

令和6年4月8日  
京都市立東山泉小中学校  
校長 岩田 智典



## 東山泉小中学校開校11年目からの挑戦

東西の泉桜は新学期の開始に合わせてくれたのか、美しく咲き誇っています。まるで、東山泉小中学校の新しいスタートを祝福しているかのようです。



明日、西学舎では 73 名の1年生が入学してきます。全校児童生徒数749名、教職員 93 名という陣容で令和6年度を迎えます。開校時は693名でスタートした東山泉ですが、10年間で50名近く児童生徒数が増え、義務教育学校としての歩みを着実に深めています。

昨年度、東山泉小中学校は10周年を迎え、「不易流行」を合言葉に取り組んできました。今年度からは開校11年という新しいステージに進むに当たり、時代に合った新しいものを取り入れるという目標のもと、下記にある「東山泉の子どもにつけたい資質・能力」を整理いたしました。

「泉のごとく人材を輩出するとともに、子どもたちの心の憩いとなる学校になって欲しいという願いを込めて選ばれた校名、東山泉」

「自分たちの住んでいる東山、我が町京都を大切にし、日本そして世界を舞台に活躍する人になって欲しいという願い」

この開校した当時の思いを、より実現させるための「新たな挑戦」になります。

日頃、学校運営協議会を中心に地域の方々にはご支援、ご協力をいただき感謝しております。今後も地域に愛される学校づくりを目指して、教職員一同教育活動を推進してまいります。令和6年度も何卒よろしくお願ひいたします。

### 学校教育目標 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

1stステージ

「あたたかく 思いやりのある児童  
ねばり強く あきらめない児童」

目指す子ども像

「人を慮りながら  
理想の実現を追求し続ける児童生徒」

2ndステージ

令和6年度「東山泉の子につけたい資質能力」

向学 各教科等で身に付けた知識・技能を日常の様々な場面において活用できる

才知 課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、  
自分の考えを表現できる

立志 自らの生き方を考えながら、目標に向かってねばり強く取り組むことができる

「向学 才知 立志」は東山泉小中学校の校是（教育上の根本精神として定められた事柄）であり、開校以来大切にしてきたものである。